

各位

会社名 株式会社プリシパル・コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 菊地 博紀
(JASDAQ・コード3587)
問合せ先
役職・氏名 取締役 井上 政隆
電話 03-3582-3190(代)

(訂正)「公認会計士等の異動に関するお知らせ」の一部訂正について

平成24年2月13日に発表した標記開示資料について下記のとおり訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正箇所

訂正箇所は___を付して表示しております。

4. 異動の決定又は異動に至った理由及び経緯

【訂正前】

平成23年2月13日開示「過年度の決算修正の可能性についてのお知らせ」のとおり、当社の取締役会および外部の専門家による調査により、過年度の決算について修正を有する可能性がある事象が判明し、あわせまして今年度の四半期報告書も修正される可能性があることが判明いたしました。これを受けまして、会計処理における見解の相違により当社の会計監査人東京中央監査法人から当社の会計監査人を退任したいとの申し出がありました。

【訂正後】

平成24年2月13日開示「過年度の決算修正の可能性についてのお知らせ」のとおり、当社の取締役会および外部の専門家による調査により、過年度の決算について修正を有する可能性がある事象が判明し、あわせまして今年度の四半期報告書も修正される可能性があることが判明いたしました。これを受けまして、当該事項に関する会計処理について、東京中央監査法人より、当社の監査意見を表明するための十分な監査証拠を入手することが困難と判断されました。さらに、連結対象子会社であるハミングステージにおいて、会社財産を保全するための適切な内部統制が整備されていないこと。また、当社グループにおいては、数期にわたり営業キャッシュフローのマイナスが続き、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在していることなどの理由により、当社の会計監査人東京中央監査法人から当社の会計監査人を退任したいとの申し出がありました。

2. 訂正の理由

当社において、平成24年2月20日臨時報告書を関東財務局長に提出した後に、当社内において「会計処理における見解の相違」以外に東京中央監査法人が留意している事項があり、「見解の相違」以外の退

任理由についても説明することが必要であるとの意見があり、平成24年2月22日訂正臨時報告書においてその他の留意している点についても表記を行なうにいたしました。平成24年2月13日時点における東京中央監査法人の退任理由は「見解の相違」であると当社及び同監査法人の間で理解しておりましたが、過年度の決算を修正するのであれば十分な監査証拠を入手することが困難であること、当時のハミングステージについて適切な内部統制が整備されていなかったこと、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在すること等複数の要因があり、訂正臨時報告書を提出した際にこれらの複数の要因を表記したため、これにあわせるかたちで当該訂正を行なうことにいたしました。主たる要因といたしましてはあくまでも過年度決算の修正に関する会計処理における見解の相違であることは変わっておりません。

以 上